

人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。

【問】市人権同和教育推進室 ☎0944・77・8842



わたし自身を見てください

両開小学校5年 松本 翼 さん

わたしは、よく男の子にまちがえられます。かみが短く、服もズボンの方が多からかもしれません。初めて男の子とまちがえられた時、なんで男の子にまちがえられるのか分かりませんでした。よく行く病院や習い事でも、初めて会う人から「つばき君」や「ぼく」とよばれてとてもいやな気持ちになります。家族で温泉に行った時知らないおばちゃん、「男の子はそっちじゃないよ。」と声をかけられました。最初はだれに言っているのかわかりませんでした。おばちゃんは、わたしの方を見て何度も言っていたので「男の子」はわたしのことだと気が付きました。周りに

は、たくさん大人の人間がいました。じっと見るだけで、だれもがわたしのことを男の子だと思ってるようでした。わたしは男の子じゃないのになんか思いつきませんでした。道徳の授業で、ピンク色が好きな男の子や黒色が好きな女の子もいることを知りました。そして、友達が好きなのは良くないと思います。」と発表した時、わたしも勝手に男の子の色や女の子の色だと決めつけてしまっていることに気が付きました。友達のように短いスカートをはいたり、かみを伸ばしたりした方がいいのかな

と思う時もあるけれど、ひらひらのかわいい洋服を着ている自分や、かみが長いわたしは、わたしではないような気がして好きではありませぬ。わたしは、今のわたしでいいのかわからなくなりました。そんな時に、お母さんが「あなたはどっしたいの？お母さんは、今のままのつばきの姿が一番だよ。」と言ってくれました。わたしはお母さんの言葉で、今のわたしのままでいいんだなと思えるようになりました。今のままのわたしを受け入れてくれる人がいる。そんな人が一人でもわたしのそばにいてくれると思うと心が軽くなる気がします。今も、男の子にまちがえ

られることはありませんが、気にならなくなりました。わたしはこの体験から、見た目だけではんだんしないで、その人の話をよく聞き、良さに目を向けて、その人自身を見ることが大切だと思いました。そして、みんなが自分らしくいられる社会にしていきたいです。

【先生からの一言】
自分の経験を通して、思い込みや見た目で人を判断しないで、その人自身を見ることが大切さに気付くことができました。これからも自分や友達の良さに目を向け、よりよい人間関係を築いてほしいと願っています。

広報やながわ 令和8年4月号 No.461

発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1
編集 総務部人事秘書課秘書広報係(直通) ☎0944-77-8402 FAX0944-74-1374
URL <https://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/> e-mail kouho@city.yanagawa.lg.jp

発行日 令和8年4月11日
【広報やながわ】は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人が読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。

2026
4
No.461

やながわ

広報



中学生が政策提言 「柳川みらい会議」

2月23日、柳川市議会議場で「柳川みらい会議～中学生からの政策提言～」が開催されました。9月から5回の会議やフィールドワークを通じて中学生が発見した市の課題や解決策を市の執行部に対して提言。「柳川知名度UP」をテーマに発表したグループは柳川を知ってもらうため、柳川オリジナル商品の制作を提案しました。発表内容は市公式サイトで見ることができます。



市公式サイトはこちら

市公式 LINE 友だち募集中

今月号の Pick up	2-3 市長の所信表明	16-17 新市史抄片、水都 info
	4-7 令和8年度予算	18-19 まちかどレポート
	8-9 子育て掲示板、もちふみデビュー	22-29 宗茂連載、お知らせひろば